

6月4日(火)

不平とつぶやき

聖書朗読 ピリピ人への手紙 2:12~18

さて、民はひどく不平を鳴らして主につぶやいた。主はこれを聞いて怒りを燃やし、主の火が彼らに向かって燃え上がり、宿営の端をなめ尽くした。

民数記 11:1

イスラエルの子らは、神様がなさったあらゆる奇跡の数々を見ても、しょっちゅう文句を言い、不平をつぶやきました。(民 14:11) 神様が守っていてくださるのに、何の文句があるんだろう、と私たちは思うかもしれません。

イスラエル人が不平不満をつぶやいたことを批判するのはたやすいですが、自分たちのことを振り返ってみましょう。神様が日々守っていてくださっているのに、つぶやきや不平で応えていませんか。ぶつぶつ言うのが悪い癖になってしまい、つぶやいていることすら気が付かなくなっているかもしれません。

荒野のイスラエル人を引き合いに出して、パウロは、『また、私たちは、…さらに、彼らの中のある人たちが主を試みたのにならって主を試みることはないようにしましょう。彼らは蛇に滅ぼされました。』(コリント I 10:8, 10)と、忠告しています。

神様は私たちの不平を聞いておられます。いろいろな事情について不平を言い、つぶやいていると気付いた時には、私はもう罪を犯しているのです。そう気付いてから、私は自分自身の言動を注意深くチェックしています。

神様は、私が心の一新によって自分を変え(ローマ 12:2, エペソ 4:23)、つぶやきを、みことばの引用や賛美に替えられるように助けてくださいます。

あなたもつい不平を言ってしまうという問題を抱えていませんか。御霊によって助けてくださるようにと神様に祈りましょう。(ヨハネ 14:15~18)

讚美歌 333 主よ われをばとらえたまえ

祈り 天のお父様、ネガティブな思いになりがちな状況を見るのではなく、あなたに目を向けることができるように助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

コロラド州 キャノンシティ / ロン・グロース

6月5日(水)

スーパーでの祈り

聖書朗読 テサロニケ人への手紙第一 5:12~28

神よ。私の祈りを聞いてください。私の口のことばに、耳を傾けてください。

詩篇 54:2

予約の時間に遅れていて、大急ぎで洗濯かごを買いに店に飛び込みました。あった。買って、車に急ぎました。ところが、車のキーが見当たらないのです。時間が刻々と経つ中、頭をフル回転させて、急いで来た道を引き返して店内に戻りました。キーは落ちていなかったのですが、カスタマー・サービスに行き返してみましたが、届けられていませんでした。ほとんどパニック状態で、もう一度、来た道を引き返しました。

洗濯用品とプラスチック容器売り場に立ち尽くしていると、女の人が近づいてきて、「どうかしたの。」と訊いてくれました。事情を話すと、彼女は私の両手を取り、祈ってくれました。最初に、主をほめたたえて、それから困っている私に平安をお与えくださいと祈り、それから、キーが見つかりますようにと、ほとんど付け足しのように祈って、「イエス様のお名前によって。アーメン。」と言いました。それから彼女は、ハグしても良いかしらと訊き、私を祝福し、すばやく立ち去りました。

予約をキャンセルするために携帯を取り出していると、キーが届けられたという店内放送が流れました。行ってみると、本当に私のキーでした。誰のためにも、どんなときでも、絶えず祈りなさいという、二度と忘れることのない教訓を得ました。

いつか私も、困っている人に遭ったら、私のために祈ってくれたあの女の人のように大胆にふるまえたらいいなと思います。でも、今のところは、誰かに祈ってほしいと言われた時に、その時その場で祈っています。

讚美歌 310 静けき祈りのときはいと楽し

祈り 父なる神様、あなたをほめたたえます。いつでも、どんなことのためにも、あなたにお願いすることができていることを感謝します。あなたに自信をもって近づき、困っている人のために切に、ためらわずに祈ることができるようになります。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 サイプレス / ラニ・ロピケット

6月6日(木)

神様の愛の言葉

聖書朗読 ヘブル人への手紙 1:1~14

神は、むかし父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。

ヘブル 1:1~2

誰かに何かを説明しようとして、「言いたいことはわかっているんだけど、うまく言えない。」と言ったことはありませんか。人々に自分の意見や立場を知らせるのに、言葉は重要な要素です。明快であることが必須です。

アメリカ史上もっとも有名なスピーチは、もっとも短いものでもあります。ゲティスバーグ演説*は約2分間という短さですが、シンプルでありながら深遠です。
(*訳注:1863年11月19日、リンカーンがゲティスバーグで行った演説。“人民の、人民による、人民のための政治”という文句を含む。)

人々が理解できる言葉でコミュニケーションをとることは愛ある行いです。神様はそうしてくださいました。神様はいろいろな方法で語られます。最後には、人となられた御子イエス・キリストによって、私たちに語られました。神様は人間の本質をご存じでした。(詩篇139篇)にもかかわらず、この世に来てくださったことは驚くべきことです。神様はことばを遣わされました。ことばは人となり、十字架上で私たちの罪を負ってくださいました。この完全なる愛の贈り物が日々、私たちに伝えられています。十字架こそ神様の愛の言葉です。

神様が与えてくださった交わりと救いを感謝しましょう。

讚美歌 II 184 神はひとり子をたまうほどに

祈り 神様、あなたがイエス様によって私たちに語られ、わかりやすく深遠な方法であなたの愛を伝えてくださったことを感謝します。主よ、ありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 サマーヴィル / デイブ・ブランド

6月7日(金)

神のみことば

聖書朗読 ヘブル人への手紙 3:7~19

ですから、聖霊が言われるとおります。「きょう、もし御声を聞かずに、荒野での試みの日に御怒りを引き起こしたときのように、心をかたくなにしてはならない。

ヘブル 3:7~8

60年以上もの年月、私は聖書を手元に置いて暮らしてきました。今までもらったものの中で一番長持ちしているのは革製の聖書2冊で、高校の卒業時にプレゼントしてもらったものです。

説教者養成課程で、初めて聖書の原語を学び、言葉の解釈方法を教わり、文章構文を示されました。私は長年の経験で、スマホの聖書アプリを使って、いろいろな言語のいろいろなバージョンの聖書を読むことくらいはできました。

忘れがちですが、覚えておかなければならないのは、聖書は、単なるドキュメントとして取り扱い、研究したり、批評したり、ツールとして利用したりするものではないということです。

ヘブル人への手紙の著者は、詩篇95篇が聖霊によって導かれ書かれたものであると見えています。詩篇が引用されたのは、ヘブル人への手紙が書かれた当時の読者がよく知っていたからというだけではなく、生ける神様の聖霊によるみことばだからです。

讚美歌 187 主よ いのちのことばを

祈り 天のお父様、みことばが初めて語られ書かれた時と変わらぬ新鮮さをもって、今日、私たちに語ってください、ありがとうございます。あなたの生ける聖なるみことばを単なるツールにしてしまっていたら、どうか赦してください。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 グランベリー / クリス・フリッセル

6月8日(土)

焦点を合わせ

聖書朗読 ヘブル人への手紙 12:1~3

こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。

ヘブル 12:1~2

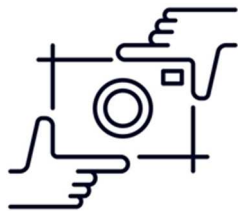
将来のイエローストーン国立公園旅行に備えて、夫は新しいカメラを買いました。夫のカメラの腕は相当なもので、きっと旅の思い出になる素晴らしい写真が得られるでしょう。

写真を撮ろうとしてカメラを構える度に、被写体にきっちり焦点を合わせるために、シャッターを軽く押さなければなりません。最高の1枚になると思って撮ったのに、後になって見てみると、ピントがずれていて、どうしようもない写真だったというようなことが何度あったでしょう。数えるのもイヤになるほど多くの写真を削除しなければならぬ時があります。

私たちの人生もカメラみたいなものです。1日を始める前に、カメラの焦点を合わせるように、落ち着いて心の焦点を合わせる必要があります。私たちの目をイエス様に合わせ離さないようにしなければなりません。信仰の創始者であり完成者であるイエス様から目を離さないでいれば、私たちの1日の活動はきっとちゃんとしたものになるでしょう。

讚美歌 II 1 心を高くあげよ

祈り 主よ、今日そして毎日、私たちの生活と心をあなたにフォーカスできますように助けてください。私たちが何をやるにしても、あなたのみこころを成し遂げることがができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。



アラバマ州 アラバスター / キム・レディンガム

6月9日(日)

永遠の大喝采

聖書朗読 ヨハネの黙示録 5:6~14

彼らは大声で言った。「ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。」 黙示録5:12

我が国最高の交響楽団の演奏を観に行きました。演奏は素晴らしくて感激しましたが、実は演奏前に、その晩のクライマックスとなる出来事がありました。30年以上、楽団で演奏してきた音楽家が引退するにあたって、その功労に対して栄誉と賛辞を贈るための時が設けられたのです。聴衆の割れんばかりの拍手喝采とともに、楽団員仲間たちは、彼らの表彰の慣例で足を踏み鳴らしました。私は、この引退する音楽家を見たことはありませんでしたし、この交響楽団の演奏をただの一度も観たことはありませんでしたが、それでも、彼らにとって本当に大事な人の栄誉を称えているシーンに心から感動しました。

この年老いた音楽家を称えて立ち上がり、手が痛くなるほど拍手している時、あるワクワクする考えが浮かびました。いつの日か勝利の日に、私たちの主がお受けになる大喝采を想像できますか。私がああ晩行ったヒューストンのコンサートには1100人位、集まっていたと思います。御座の前での最後の集まりには、多くの御使いたちと、あらゆる時代の聖徒たちがいて、王の王であられる、私たちの主イエス様をほめたたえ、喝采し、賛辞を送っているのです。何という光景でしょう。あなたには想像がつきますか。永遠のスタンディング・オベーションを待ち切れません。

讚美歌 164 子羊をばほめたたうる

祈り お父様、あなただけが賛美と崇敬と愛を受けるにふさわしい方です。私たちも、御使いたちや聖徒たちとともに、御国の大合唱に加わることができの日を待ち望みます。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / デイビッド・ラングフォード